

芝山仁王尊節分会

地域おこし協力隊 レポート Vol.1

来年は快晴での豆まきを！

芝山町地域おこし協力隊の串田徹です。芝山町に移住して早くも4か月が経ちました。町中どこでも見ることができる航空機の姿に目を奪われながら、毎日新鮮な気持ちで芝山町のために奔走しております。

そんな日々の中で巡り合う町の二場面を切り取りながらレポートをお届けします。

今年も2月に入り、かねてより楽しみにしていた芝山仁王尊の「豆まき」の日「節分」がやってまいりました。例年ならば節分は2月3日ですが、今年は約4年に一度のペースで立春が変わる関係で、一日早い2月2日の日曜日が節分でした。当日はあいにくの雨模様。傘を片手に仁王門へと続く石段を一步ずつ踏みしめながら、予定通りお昼前に境内に辿り着く

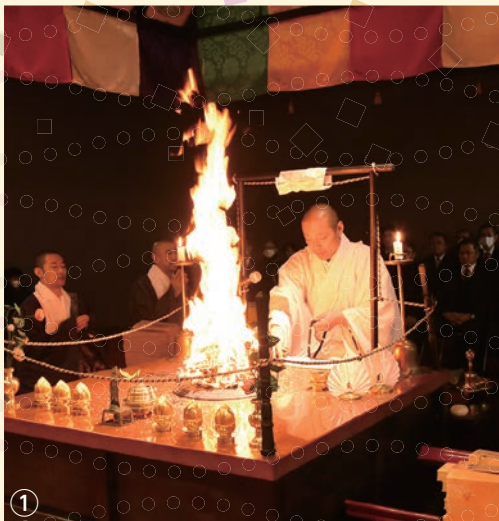
と人影もまばら。残念ながら「豆まき」は中止となっております。私が境内にいた後からも、福を分けていただく続々と人が集まって来ていました。私と同じくこの日を楽しみに訪れた方々は「豆まき」の中止を残念がっていました。本堂の案内所にて住職たちから福豆を手渡しで頂戴し、それぞれが笑顔で福を持ち帰っていきましました。「笑う門には福来る」ですね。

いただいた福豆は落花生をはじめ何種類かのお豆とおかきまでセットされていて結構なボリュームでした。初めて訪れた芝山仁王尊節分会。あらためて本堂にて手を合わせ五穀豊穡と無病息災、芝山町の繁栄を切に願ひながら「来年こそは晴れて開催できますように」とお祈りして境内を後にしました。

あとがき、

◆今年の7月で芝山町は町制施行70周年を迎え、4月より70周年を迎える事業が始まります。こちらが、皆さんのふるさと芝山町の歴史や文化、未来に思いを巡らせる機会になるように努めます。◆広報紙に携わり、芝山町のいろいろな景色や人に出逢い、新しい発見をしました。この感じたものを広報はもちろん、子どもや家族にも共有したい！私は70周年を機に、町の魅力巡りを楽しみたいと思います。◆春は出逢いと別れの季節。今を目に焼き付けるか、記録に撮るか悩みますが、そんな皆さまの記録に広報紙は徹したいと思います。(Y)

◆今月号の表紙は、長距離走で有名な篠原選手と芝山小の児童です！篠原選手は児童から大人気で、その走りを見た児童は大興奮。まるで飛んでいるかのような軽いフォームでグラウンドを走る姿に、見ていた大人たちも感嘆の声が出ていました。◆今回、5ページから7ページで取り上げている英会話イベントは成田国際空港が近い芝山町だからこそできる事業で、キヤリア教育面で大きく役立つ事業だと思っています。自分も取材に行きましたが、学べることが多く英語以外のことも学べるため親子で来られた方からも好評のイベントです。芝山町の小学生はぜひ参加してみてください。◆3月は花粉に苦しめられる人が多くいるシーズンです。花粉対策をして元気に年度初めを迎えましょう。(D)



①大般若転読
②除災招福大護摩

2月2日(日)、芝山仁王尊観音教寺の護摩堂にて、節分会が行われました。今年も数人の僧侶による經典の読み上げ「大般若転読」や、除災や求福のために七星を供養する「星供」など、除災招福を祈願した法要が行われました。参拝者はますますの発展を願いながら、大法要を受けていました。

令和7年3月1日発行 編集・発行 芝山町総務課 〒289-1692 千葉県山武郡芝山町小池992 ☎0479-77-3921
※「広報しばやま」は、新聞折込みにて配布しております。

https://www.town.shibayama.lg.jp/